

令和2年度事業報告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

I 会員の状況

令和3年3月31日現在

会員区分	現在員	令和2年度 入退会状況		
		入会者	退会者	増減
名誉会員	42名	1名	1名	0名
普通会員	1,286名	52名	120名	△68名
一般会員	164名	17名	6名	11名
賛助会員	18名	5名	3名	2名
合計	1,510名	75名	130名	△55名
団体会員	10団体	0団体	0団体	0団体

II 事業概要

1 公益目的事業

(1) 灯台参観業務

- ① 全国16の参観灯台において、地元関係団体と協力して一般の方々への航路標識事業の周知啓蒙に務めた。

令和2年度の参観者数は、396,794人で、主に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前年度と比較して△277,927人となり、大きな減少(約41.2%減)となった。

なお、尻屋埼及び入道埼灯台は季節参観であり、令和2年度は、6月1日から11月3日までの間、参観業務を実施した。

- ② 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、次のとおり参観業務を休止した。

- ・塩屋埼灯台は、4月1日から6月5日まで
- ・犬吠埼及び野島埼灯台は、4月1日から6月18日まで、及び1月8日から3月21日まで
- ・観音埼灯台は、4月1日から6月19日まで、及び1月8日から3月21日まで
- ・御前埼、安乗埼、大王埼、潮岬、角島、出雲日御碕及び都井岬灯台は、4月1日から5月31日まで
- ・初島灯台は、4月1日から5月31日まで、並びに6月8日から7月22日まで、及び1月14日から3月19日までの平日
- ・残波岬灯台は、4月1日から5月31日まで、及び8月4日から9月6日まで
- ・平安名埼灯台は、4月1日から5月31日まで、8月8日から9月7日まで、及び1月27日から3月1日まで

- ③ 海上保安庁による灯台改修等工事のため、次のとおり参観業務を休止した。

- ・尻屋埼灯台は、10月5日から9日まで
- ・観音埼灯台は、10月19日から30日まで
- ・安乗埼灯台は、3月15日から17日まで

- ・出雲日御碕灯台は、11月13日及び14日
- ・残波岬灯台は、1月14日から2月10日まで
- ・平安名埼灯台は、7月10日から21日まで

- ④ 4月1日から参観寄付金を200円から300円にするとともに、参観時間を延長した。
- ⑤ 参観灯台をPRするため、キャッチフレーズを作成するとともに、各灯台の魅力を伝えるリーフレットの作成、ホームページの内容の見直し、インスタグラムの開設を行った。また、各灯台入口に設置したイーゼル板によりのぼれる灯台の魅力をアピールした。
- ⑥ 灯台スタンプラリーは、令和2年度は22名の方が「のぼれる灯台16」の参観を達成された。

(2) 展示室業務

- ① 11箇所の参観灯台に当会が設置している資料展示室を灯台参観に合わせ公開した。
- ② 施設の修繕は緊急を要するもののみ実施した。
- ③ 志摩市、下関市から委託を受け、両市が設置している安乗埼、角島の各資料展示室の管理を行った。
- ④ 各支所等で保管している航路標識資料を移設展示するために旧犬吠埼航路標識事務所庁舎の国有財産使用許可を得たうえで、令和2年は展示棚等の施設整備を行い、来年度は電源施設整備、展示資料の運搬等を行い、これら資料展示を完了することとしている。

(3) その他の周知広報業務

- ① 152周年灯台記念日祝賀会は、新型コロナウイルス感染防止のため、中止した。これに伴い、航路標識事業の発展並びに航路標識事業に貢献した者の表彰も取り止めた。
- ② 「灯台絵画コンテスト2020」として、全国の小・中学生を対象として、「灯台のある風景」をテーマとした募集を行い、423点の応募があった。9月23日及び24日の審査委員会^{※1}により選定した各部門（小低、小高、中）2点の入賞作品計6点の中から、国土交通大臣賞、海上保安庁長官賞及び燈光会会長賞各1点並びに各部門金賞1点が決定された。表彰は、被表彰者の地元において、海上保安部長等から伝達していただいた。

（※1：委員会委員：上野委員長、高橋副委員長、福田委員、三野委員、不動委員）

- ③ 灯台を核とした地域振興を図る市町村や灯台研究者、愛好市民団体などの活動に積極的に連携、協力又は支援を行い、航路標識事業の周知啓蒙、発展に努めた。

なお、御前崎市で予定されていた灯台ワールドサミットは来年度に延期された。

<地方自治体等>

- ・重要文化財指定に係る地方自治体との連携（銚子市、下関市、北九州市）
- ・灯台活用推進協議会への参画（志摩市）
- ・灯台ワールドサミット in 御前崎への参画（御前崎市）
- ・沖縄県まちづくり意見交換会への参画（読谷村）
- ・下北ジオパーク再認定への協力（東通村）
- ・プレミアムパスポート事業及び縁結び台設置への協力（男鹿市）
- ・横須賀市内の周遊観光動向調査への協力（横須賀市）
- ・駿河 Blue Line スタンプラリーへの参加（御前崎市）
- ・出雲日御碕灯台ライトアップ事業への協力（出雲市）

- ・神威岬灯台の旧第1等レンズの里帰り事業への協力（積丹町）
- ・美保関灯台の旧1等レンズ展示への協力（松江市）
- ・駕泊灯台の旧回転式回転灯器一式展示への協力（利尻富士町）
- ・豊橋市美術館の「クラシヲテラス灯」企画展への協力（豊橋市）
- ・残波岬灯台と美ら海フォトコンテンツへの協力（那覇海上保安部）
- ・近代化遺産フォーラムにおける航路標識資料展示への協力（舞鶴市）
- ・「野間灯台100年誌」の編纂への協力（美浜まちラボ）

<報道関係>

- ・「新・美の巨人」番組製作への協力（テレビ東京）
- ・「武田鉄矢の昭和が輝いていた」番組製作への協力（BSテレビ東京）
- ・「ツカエルくんのえねタン」番組製作への協力（ABA青森朝日放送）
- ・「なないろ日和」番組製作への協力（テレビ東京）
- ・「絶景につぼん紀行～おうちで旅気分～」番組製作への協力（BS-TBS）
- ・ニュース情報番組「Mieライブ」番組製作への協力（三重テレビ）
- ・「おとな旅あるき旅」番組製作への協力（テレビ大阪）
- ・「角島灯台」特集記事作成への協力（毎日新聞西部本社）
- ・「絶景映え バイクひとり旅」番組製作への協力（NHK広島）
- ・「追跡！長州ツイートトラベル」番組製作への協力（日テレ山口）
- ・「しまねの灯台・日御碕灯台」番組製作への協力（NHK島根）
- ・「満天★青空レストラン」番組製作への協力（日本テレビ）

<個人、団体からの問合せ等への対応>

- ・灯台研究生をはじめとする灯台興味を持つ個人、大学の卒業論文に「灯台と観光」をテーマとした学生など個人からの資料提供、問合せ、質問等の依頼に対応した。
- ・参観灯台のある市町村の観光協会や、一般財団法人船員保険協会などの団体による会報誌作成などに係る灯台写真の提供等の依頼に対応した。
- ・参観灯台における小学校児童による野外学習への支所職員の対応や、小学生の自由研究などへの資料提供、問合せ、質問等の依頼に対応した。

<情報誌等>

- ・旅行に関する情報誌やWEB運営者である「じゃらん」、「るるぶ」、「まっぷる」、「JTBパブリッシング」、「WEBマガジン」、「カンポ宿情報誌」などによる参観灯台の紹介に係る灯台写真、参観情報等への資料提供、記載情報校正・確認など100件を超える協力依頼に対応した。

- ④ 海上保安庁（本庁、管区本部、保安部等）が各地域で行う航路標識関係の催しに対し支援協力を行った。
- ⑤ 会誌「燈光」を隔月発行、関係先に配付し、航路標識事業の周知広報に努めた。
- ⑥ 歴史的航路標識資料の適正な整理・保存のためデータベース化を進めた。
- ⑦ 全国16の参観灯台と使用灯器を題材とした灯台カレンダーを作成、配布することにより航路標識の周知広報に努めた。

- ⑧ 利用度の低い老朽した航路標識周知板の撤去を進めた。
- ⑨ 冊子「航路標識のはなし」改訂版を製作し、航路標識事業の周知啓蒙資料として関係先に配布した。

2 収益事業

令和3年度からの収益事業の廃止に向け、次のとおり必要な準備を進めた。

- ① 物品委託販売の廃止や望遠鏡の撤去に必要な手続きを進めた。
- ② 内閣府へ収益事業の廃止に係る認定申請を行うことについて、理事会決議を得て、1月6日付けで変更認定申請書を提出し、2月24日付けで、承認された。

3 互助事業

- (1) 会誌「燈光」を隔月発行し、会員に配付した。
- (2) 2021年版「灯台カレンダー」を作製し、会員に配付した。
- (3) 海上保安学校本科情報システム課程、管制課程へ教材等の助成を行った。
- (4) 海上保安庁長官賞受賞者2名に対し功労賞金を支給した。
- (5) 無線従事者資格等航路標識業務に有用な資格取得者延べ105名に対し、奨励金を支給した。(内訳別紙)
- (6) 会員の子弟8名に対し、奨学金を貸与した。(内訳別紙)
- (7) 会員の遺族17名に対し、弔慰金を支給した。
- (8) 会員の慶事に対し、祝電5通を送った。
- (9) 米寿を迎えた会員11名に対し、記念品を贈呈した。
- (10) 会員1名に対し、災害見舞金を支給した。

4 その他

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した者に対して支給される助成金、給付金を申請し、次のとおり受領等した。

(※申請中のものを含む助成金・給付金 合計額 26,305,087円)

- (1) 受領したもの
 - ・持続化給付金 2,000,000円 (6月8日受領)
 - ・雇用調整助成金 17,562,123円 (7月～3月、14回受領)
 - ・国の家賃支援給付金 3,679,098円 (10月1日受領)
 - ・東京都家賃等支援給付金 202,172円 (10月30日受領)
 - 計 23,443,393円
- (2) 申請中のもの
 - ・雇用調整助成金 2,861,694円 (未受領)

Ⅲ 庶務事項

1 定時総会（令和2年6月30日）

令和元年度事業報告及び収支決算報告、理事辞任に伴う後任理事の選任について審議し、原案のとおり承認可決された。

2 理事会

第一回（令和2年5月25日）（書面表決）

令和元年度事業報告及び収支決算報告、理事辞任に伴う後任理事の選任、令和2年度定時総会について、書面表決により原案のとおり承認可決された。

第二回（令和2年6月30日）

役付理事の選定、役員退職慰労金支給、令和2年度事業計画の弾力的な実施について審議し、原案のとおり承認可決された。

また、代表理事及び業務執行理事から職務執行状況について報告があった。

第三回（令和2年12月22日）（書面表決）

収益事業の廃止に係る内閣府への認定申請、名誉会員の推薦について、書面表決により原案のとおり承認可決された。

第四回（令和3年3月19日）

令和3年度事業計画、令和3年度収支予算、規則類の制定改正について審議し、原案のとおり承認可決された。

また、代表理事及び業務執行理事から職務執行状況について報告があった。

Ⅳ 登記事項等

令和2年4月15日 内閣府あて「変更の届出（参観寄付金額の変更）」提出
6月17日完了

令和2年6月30日 法務局あて「変更登記（理事の変更）」申請、7月3日登記完了

令和2年7月1日 内閣府あて「令和元年度事業報告等」提出
3月25日完了

令和2年7月15日 内閣府あて「変更の届出（理事の変更）」提出
3月25日完了

令和2年11月6日 内閣府及び公益認定等委員会による立入検査があり、的確に運営されていることを確認したとの講評があった。

令和3年1月6日 内閣府あて収益事業廃止に係る「変更認定」申請
2月24日承認

Ⅴ 事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和2年度有技者資格等取得者内訳

別紙

資格等の種類	取得者数 (名)
第三級海上無線通信士	4
第一級陸上無線技術士	22
第二級陸上無線技術士	69
第一級施工管理技士(土木)	1
実用英語技能検定準1級	1
実用英語技能検定2級	2
TOEIC	6
計	105

令和2年度奨学金貸与内訳

1 奨学金の貸与者数及び貸与額

令和3年3月31日現在

定員 (名)	貸与者数 (名)	年間貸与金額/名 (円)	貸与額 (円)
高等学校	1	300,000	300,000
専修学校	1		300,000
大学	6		1,800,000
合計	8		2,400,000

2 返還者数及び返還金額

返還対象延べ数 (名)	返還金額 (円)
49	8,198,000